



ひのたん

日の里学園通信

平成30年度 第7号 9月26日

日の里学園コーディネーター 北岡 隆博

「日の里学園地域交流グラウンドゴルフ大会」

日の里学園では、日の里地区で実施している資源回収事業により、学園3校が支援を得ていることに対して感謝の気持ちを表すとともに、スポーツを通して地域の皆様と小中学生が楽しく交流することを目的に、昨年度から日の里学園PTAが主催して、「日の里学園地域交流グラウンドゴルフ大会」を実施しています。

本年度は、天候や運動場の状態が心配されましたが、おかげさまで、地域の皆様のご協力とご参加を得て、9月21日（金）に前日準備、22日（土）にグラウンドゴルフ大会を、予定通りに実施することができました。特に、地域のグラウンドゴルフに詳しい方々、コミセンの健康福祉部、スポーツ推進員の方々には大きなご支援をいただき、ありがとうございました。

開会式は、西小の北原拓朗くんが進行役でした。中学校の野口裕大くん、東小の平川恭吾くん、西小の武田朋樹くんが「地域の方と一緒に楽しくプレーをすることを誓います」と選手宣誓をしました。閉会式は東小の紙地美羽さんが進行役。今年から子どもたちも運営に参加しました。

大会は、児童生徒・地域の方々の混成チームの競技者、3校PTAの運営協力員、教師の応援等で合わせて約200人で盛り上がりました。グラウンドゴルフに精通しておられるシニアの方々が、初心者の子どものに優しくアドバイスをされている姿、チームのナイスプレーを共にたたえ合う姿など、ほほえましい光景がたくさん見られました。シニアの方々の手取り足取りの優しい指導を受けて、初心者の小中学生の中からホールインワンが出るなど、めざましい上達ぶりを見せる子どもも多数いました。この大会でグラウンドゴルフに親しみ、身近で楽しいスポーツとして感じる子どもが増えたようです。

日の里地区のシニアの方々、子育て世代のPTAの方々、そして日の里学園の子どもたちが笑顔で世代間交流を楽しむ、よい機会になったと感じています。

